

明日の自治体を担うのは 私たち

楽しく
元気に2008年新採歓迎パーティー



6月14日の初夏の土曜日、大阪市・南港のコスモタワーのホールで、大阪自治労連青年部の「2008年新採歓迎パーティー」がひらかれ、14単組から約150人が参加しました。会場のホールは青年のにぎやかな声と笑顔がいっぱい。ゲームや懇談で楽しく懇親を深めました。荻野豪青年部長は「楽しいことも、しんどいときも、青年部でいっしょにやっいてこう」と呼びかけました。



おおさか
自治体の仲間

発行：大阪自治労連(大阪自治体労働組合総連合) 2008年6月15日 No.233

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15大阪グリーン
会館4F ☎06-6354-7201 FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp

発行人/谷 真琴 編集人/西岡 健二
平成2年9月12日第3種郵便物認可
毎月15日発行(1部10円)組合員の購読料は組
合費に含まれています。

日時だよ! 全員集合

2008年夏季闘争期
のとりくみ&行事

- 6月23日(月) 「安保破棄6・23大阪集会」(扇町公園)
- 6月23日(月) 青年劇場「族譜」公演(東大阪市民会館)
- 6月24日(火) 青年劇場「族譜」公演(クレオ大阪中央)
- 6月27日(金) 職業病・労安活動交流集会(大阪グリーン会館)
- 6月29日(日) 大阪労連2008年囲碁将棋大会(大阪グリーン会館)
- 6月30日(月) 2008年国民平和大行進大阪府内入り(7月7日まで府内を行進)
- 7月1日(火)~2日(水) 自治労連近畿ブロック第19軟式野球大会(京都府宇治市・城陽市)
- 7月3日(木) 労金活動交流集会(シティプラザ大阪)
- 7月4日(金) 働き方ネットワークのつどい(エル大阪)
- 7月4日(金) 2008年国民平和大行進・大阪市内行進
- 7月6日(日) 羽曳野市長選挙告示日
- 7月11日(金)~12日(土) 自治労連第15回囲碁将棋大会(神奈川県湯河原町)
- 7月13日(日) 羽曳野市長選挙投票日
- 7月13日(日) 「7・13全国大集会in横須賀」
- 7月17日(木) 公務労組連・自治労連夏季闘争第2次中央行動(東京)
- 7月20日(日) 河内長野市長選挙告示日
- 7月27日(日) 河内長野市長選挙投票日



「この国に生まれて
よかったか」

全大阪生活と健康を守る会
日本機関紙出版センター
定価 1500円

刊 編



タイムリーな1冊です。昨今、全国で生活保護受給者が急増しています。100万世帯を超える状況です。

北九州市での餓死事件以来、各地で生活保護行政の実態が明るみになってきました。国の構造改革路線のなかで生活困窮者は増え、生活保護基準はどんどん切り下げられ、憲法25条の「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」から乖離しているのが実態です。本の副題は「生活保護利用者438人命の叫び」です。本に書かれている438人の声は、この日本の政治の貧困自体を問うものとなっています。

ほけんしょ9条の会

けんぷく9条の会

合同で平和のつどい



記念講演で話をする藤野高明さん

「9条」を守る運動の手をゆるめず

戦争は障害者を作り
差別するもの

大阪府庁の職場で結成されている「ほけんしょ9条の会」と「けんぷく9条の会」が、5月31日に合同で「つどい」を行いました。

手づくりの「9じょう達磨」のちぎり絵シール、手づくりクッキー、子ども家庭センターの有志の皆さんの「輝くような音色」のアコーディオン演奏など、あたたかい気持ちに包まれながら、みんなで「ねがい」など平和への思いを合唱しました。

記念講演では元全日本視覚障害者協議会会長の藤野高明さんが「未来につなぐいのち」のタイトルで講演しました。不発弾の爆発により7歳で両眼と両手を失い、20歳で盲学校に入学、二重障害の苦難を乗り越え、32歳で盲学校の教師に(黒田知事)が初めて採用した点字による教員採用試験に合格)。その後24年間の教員生活と障害者運動。まさに、「戦争の時代」と「憲法に裏打ちされた平和と人権の時代」を生きた藤野さん。「戦争は障害者を作り、差別する」「戦争の事実を知るだけではだめだ想像する力を持ちなさい」「政治を語り、平和を求めて議論することが25条を実現する力にもなるのです」という言葉の一つ一つが若々しい響きとともに、胸にずしりと落ちました。ぜひ多くの人に聞いてもらいたい講演でした。

「9条の会」がいま
全国に7000

え、32歳で盲学校の教師に(黒田知事が初めて採用した点字による教員採用試験に合格)。その後24年間の教員生活と障害者運動。まさに、「戦争の時代」と「憲法に裏打ちされた平和と人権の時代」を生きた藤野さん。「戦争は障害者を作り、差別する」「戦争の事実を知るだけではだめだ想像する力を持ちなさい」「政治を語り、平和を求めて議論することが25条を実現する力にもなるのです」という言葉の一つ一つが若々しい響きとともに、胸にずしりと落ちました。ぜひ多くの人に聞いてもらいたい講演でした。

で、政府が自衛隊の海外派兵をいつでもどこでも行える恒久法の提出を検討していることや、自民党や民主党の国会議員有志が、新憲法制定議員同盟を強化して、憲法改悪へ巻き返しを図ろうとしています。こうしたもとの「合同のつどい」は、「運動の手を緩めたらアカン!」という思いを新たにする集いとなりました。